

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 2019年11月13日

**【四半期会計期間】** 第58期第1四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

**【会社名】** 株式会社三ツ知

**【英訳名】** Mitsuchi Corporation

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 中 村 和 志

**【本店の所在の場所】** 愛知県春日井市牛山町1203番地

**【電話番号】** 0568-35-6350(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役総務部長 村 越 康 幸

**【最寄りの連絡場所】** 愛知県春日井市牛山町1203番地

**【電話番号】** 0568-35-6350(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役総務部長 村 越 康 幸

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第57期 第1四半期 連結累計期間	第58期 第1四半期 連結累計期間	第57期
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2018年7月1日 至 2019年6月30日
売上高	(千円)	3,537,866	3,561,303	14,567,549
経常利益	(千円)	163,774	51,254	668,845
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	(千円)	121,971	46,875	472,715
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	122,414	267	513,273
純資産額	(千円)	8,153,451	8,379,895	8,468,231
総資産額	(千円)	15,639,410	15,881,445	15,535,607
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	48.18	18.52	186.73
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	52.1	52.8	54.5
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	267,475	49,876	798,675
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	95,996	457,147	498,409
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	25,501	282,550	446,727
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	4,274,684	3,829,886	3,965,980

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社三ツ知春日井を当社に吸収合併いたしました。

この結果、2019年9月30日現在では、当社グループは当社及び連結子会社5社により構成されております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内では雇用環境に回復基調が見られるものの、米国及び中国の貿易摩擦、英国によるEU離脱問題の混乱等が世界経済に与える影響は大きく、依然として先行きは不透明な状態にあります。

当社グループの主要得意先であります自動車部品業界におきましては、国内においては自動車販売台数の増加により堅調に推移いたしました。米国及び中国では自動車販売台数は減少しており、先行きは不透明な状況です。

このような経営環境の中、当社グループでは、経営理念であります「絶えざる技術革新」と「ニーズを先取りした製品」の「スピードある提供」を通じ、お客様の「揺るぎない信頼のもとグローバル企業」を実現するために、中期経営計画の第4年目として、株式会社三ツ知及び連結子会社でありました株式会社三ツ知春日井との合併により今まで以上の業務効率化等を実施し、対処すべき課題の解消及び中期経営計画の達成に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高につきましては、日本及び中国では減収となりましたが、米国とタイでは堅調に推移し、売上高は35億61百万円（前年同期比0.7%増）となりました。一方利益面につきましては、鋼材値上げの影響による材料費の増加及び、仕入コストの上昇等により、営業利益は50百万円（前年同期比64.9%減）となりました。また、経常利益は51百万円（前年同期比68.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は46百万円（前年同期比61.6%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### 日本

国内向けの受注は堅調に推移しましたが、海外向け受注が減少し、売上高は28億57百万円（前年同期比3.6%減）となりました。利益面につきましても、減収の影響により、営業利益は57百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

#### 米国

新規受注が堅調に推移し、売上高は3億53百万円（前年同期比2.2%増）となりました。一方利益面につきましては、関税増税による鋼材価格の値上げ及び売上原価の増加の影響等により、営業利益は5百万円（前年同期比72.9%減）となりました。

#### タイ

米国向けの輸出の増加等により、受注は堅調に推移し、売上高は5億38百万円（前年同期比3.7%増）となりました。一方利益面につきましては、売上原価の増加及び経費の増加の影響等により、営業利益は23百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

#### 中国

得意先からの受注はわずかに減少し、売上高は1億10百万円（前年同期比1.2%減）となりました。利益面につきましても、減収の影響及び諸経費の増加等により、3百万円の営業損失（前年同期は0百万円の営業損失）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億36百万円減少し、38億29百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費1億72百万円、未払金の増加額99百万円、賞与引当金の増加額89百万円等による資金増があり、一方で仕入債務の減少額1億35百万円、役員退職慰労金の支払額1億22百万円、法人税等の支払額1億8百万円等による資金減により、49百万円の収入(前年同期比81.4%減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、保険積立金の払戻による収入2億63百万円等による資金増があり、一方で有形固定資産の取得による支出7億13百万円等による資金減により、4億57百万円の支出(前年同期比376.2%増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入6億72百万円による資金増があり、一方で長期借入金の返済による支出1億88百万円、社債の償還による支出1億4百万円、配当金の支払額85百万円等の資金減により、2億82百万円の収入(前年同期比1,008.0%増)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は4百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,652,020	2,652,020	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株 であります。
計	2,652,020	2,652,020	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	2,652,020	-	405,900	-	602,927

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である2019年6月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 120,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,529,500	25,295	-
単元未満株式	普通株式 2,020	-	-
発行済株式総数	2,652,020	-	-
総株主の議決権	-	25,295	-

(注) 単元未満株式には、当社所有の自己株式3株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対す る所有株式 数の割合 (%)
(自己保有株式) 株式会社三ツ知	愛知県春日井市牛山町1203番地	120,500		120,500	4.54
計	-	120,500		120,500	4.54

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,965,980	3,829,886
受取手形及び売掛金	2,240,598	2,175,034
電子記録債権	920,497	910,540
たな卸資産	2,569,766	2,559,334
その他	184,263	224,986
流動資産合計	9,881,105	9,699,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,419,451	1,427,225
機械装置及び運搬具（純額）	1,747,846	2,032,159
土地	1,513,991	1,510,622
リース資産（純額）	78,137	208,169
建設仮勘定	46,238	282,554
その他（純額）	198,179	187,540
有形固定資産合計	5,003,844	5,648,271
無形固定資産		
その他	148,395	139,870
無形固定資産合計	148,395	139,870
投資その他の資産		
投資有価証券	169,398	162,731
その他	333,082	231,010
貸倒引当金	220	220
投資その他の資産合計	502,261	393,521
固定資産合計	5,654,501	6,181,662
資産合計	15,535,607	15,881,445



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,425,522	1,229,025
電子記録債務	696,845	751,681
1年内償還予定の社債	209,280	209,280
1年内返済予定の長期借入金	658,362	744,256
リース債務	35,958	44,157
未払法人税等	115,854	48,015
賞与引当金	2,882	92,316
役員賞与引当金	13,985	5,100
その他	569,410	668,844
流動負債合計	3,728,101	3,792,678
固定負債		
社債	792,520	687,880
長期借入金	2,219,428	2,615,702
リース債務	94,445	212,691
役員退職慰労引当金	55,849	6,662
退職給付に係る負債	78,177	90,282
その他	98,852	95,652
固定負債合計	3,339,273	3,708,871
負債合計	7,067,375	7,501,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,900	405,900
資本剰余金	604,430	604,430
利益剰余金	7,303,457	7,261,729
自己株式	133,924	133,924
株主資本合計	8,179,863	8,138,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,980	6,870
為替換算調整勘定	290,348	248,630
その他の包括利益累計額合計	288,368	241,760
純資産合計	8,468,231	8,379,895
負債純資産合計	15,535,607	15,881,445

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,537,866	3,561,303
売上原価	2,871,912	3,011,409
売上総利益	665,953	549,894
販売費及び一般管理費	522,622	499,627
営業利益	143,330	50,266
営業外収益		
受取利息	2,068	2,535
受取配当金	146	162
為替差益	7,664	-
受取補償金	6,662	-
作業くず売却益	6,481	4,028
その他	10,213	10,275
営業外収益合計	33,237	17,002
営業外費用		
支払利息	7,047	8,005
為替差損	-	3,368
その他	5,745	4,641
営業外費用合計	12,793	16,014
経常利益	163,774	51,254
特別利益		
保険解約返戻金	-	94,491
特別利益合計	-	94,491
特別損失		
投資有価証券評価損	-	600
役員退職慰労金	-	122,394
特別損失合計	-	122,994
税金等調整前四半期純利益	163,774	22,750
法人税、住民税及び事業税	63,172	35,587
法人税等調整額	21,369	59,712
法人税等合計	41,802	24,124
四半期純利益	121,971	46,875
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,971	46,875

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	121,971	46,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,881	4,890
為替換算調整勘定	9,439	41,717
その他の包括利益合計	442	46,608
四半期包括利益	122,414	267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,414	267
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	163,774	22,750
減価償却費	149,343	172,226
のれん償却額	21,789	-
賞与引当金の増減額(は減少)	78,489	89,434
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,615	8,885
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1,143	11,978
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	9,971	49,186
固定資産売却損益(は益)	1,599	20
投資有価証券評価損益(は益)	-	600
受取利息及び受取配当金	2,214	2,697
保険解約損益(は益)	1,717	94,628
支払利息	7,047	8,005
役員退職慰労金	-	122,394
売上債権の増減額(は増加)	41,201	68,812
たな卸資産の増減額(は増加)	146,692	8,874
未収入金の増減額(は増加)	17,616	3,274
仕入債務の増減額(は減少)	55,912	135,039
未払金の増減額(は減少)	22,972	99,505
未払費用の増減額(は減少)	2,569	12,572
その他	32,362	7,034
小計	354,685	287,563
利息及び配当金の受取額	2,214	2,697
利息の支払額	9,188	9,476
役員退職慰労金の支払額	-	122,394
法人税等の支払額	80,236	108,513
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>267,475</b>	<b>49,876</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	63,660	713,700
有形固定資産の売却による収入	461	6,579
投資有価証券の取得による支出	603	618
保険積立金の払戻による収入	3,691	263,257
その他	35,884	12,665
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>95,996</b>	<b>457,147</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	430,000	672,870
長期借入金の返済による支出	179,191	188,206
ファイナンス・リース債務の返済による支出	13,297	11,508
社債の償還による支出	125,640	104,640
配当金の支払額	86,369	85,964
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>25,501</b>	<b>282,550</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,954	11,372
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	185,026	136,093
現金及び現金同等物の期首残高	4,089,657	3,965,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 4,274,684	1 3,829,886

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、当社の完全子会社であった株式会社三ツ知春日井は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

国際財務報告基準を適用する在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を、当第1四半期連結会計期間より適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、当会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において固定資産の有形固定資産のリース資産が124,999千円、流動負債のリース債務が7,696千円、固定負債のリース債務が118,589千円それぞれ増加しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の損益に及ぼす影響は軽微であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、外注先でありました豊明樹脂工業有限会社より、プラスチック成型加工に関する損害賠償請求訴訟(損害賠償請求金額50,149千円 訴状受領日 2018年1月23日)を受け、現在係争中であります。

当社としては債務は無いものと考えており、当該訴訟に対して弁護士と協議の上、法廷で適切に対応しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金	4,320,225千円	3,829,886千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	45,541千円	- 千円
現金及び現金同等物	4,274,684千円	3,829,886千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年9月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	88,605	35	2018年6月30日	2018年9月28日

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年9月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	88,603	35	2019年6月30日	2019年9月27日

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

当社は、2019年1月31日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社三ツ知春日井を吸収合併することを決議し、同日付けで合併契約を締結いたしました。この契約に基づき、2019年7月1日付けで株式会社三ツ知春日井を合併いたしました。

(1) 取引の概要

結合当事企業の名称及び事業の内容

結合企業の名称 株式会社三ツ知春日井  
事業の内容 自動車部品等の製造・販売

企業結合日

2019年7月1日

企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、株式会社三ツ知春日井を消滅会社とする吸収合併

結合後企業の名称

株式会社三ツ知

その他取引の概要に関する事項

株式会社三ツ知春日井は、2011年12月1日に当社グループの冷間鍛造技術力及び、製造・販売基盤の強化を図るため、TRWオートモーティブジャパン株式会社からの株式譲渡により設立された当社の完全子会社であります。本合併は、経営資源の集約・効率的な組織運営を図ることを目的としております。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成31年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,612,884	343,567	469,859	111,554	3,537,866
セグメント間の内部売上高 又は振替高	351,859	2,765	49,330	33	403,988
計	2,964,744	346,332	519,189	111,588	3,941,854
セグメント利益又は損失( )	88,457	19,170	33,795	302	141,121

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	141,121
セグメント間取引消去	2,208
四半期連結損益計算書の営業利益	143,330

当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,621,876	350,248	478,886	110,292	3,561,303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	235,406	3,665	59,507	5	298,585
計	2,857,283	353,913	538,394	110,297	3,859,889
セグメント利益又は損失( )	57,669	5,186	23,649	3,017	83,487

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	83,487
セグメント間取引消去	33,220
四半期連結損益計算書の営業利益	50,266

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	48.18円	18.52円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	121,971	46,875
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	121,971	46,875
普通株式の期中平均株式数(株)	2,531,583	2,531,517

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

株式会社三ツ知  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	孫	延	生	印
--------------------	-------	---	---	---	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	加	納	俊	平	印
--------------------	-------	---	---	---	---	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社三ツ知の2019年7月1日から2020年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社三ツ知及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。